

JASC2017 年度 第 1 回定例会

ミュージアムのこれからを考える

～ミュージアムとクリエイティブの融合～



開催日時・場所：

2017年4月23日(日) 14:30~17:00 Rethink Books (福岡市中央区天神)

プログラム

開会趣旨説明 (14:30~13:45)

研究開発委員会 高安礼士氏

話題提供 (14:45~16:05) (発表 20分)

話題1：「サイエンスコミュニケーションの10年(仮)」

高安 礼士 (日本サイエンスコミュニケーション協会 理事)

話題2：「科学館におけるデザイン思考に基づくSC活動の展開」

平井康之氏 (九州大学芸工院教授)

話題3：「科学フェスタの可能性について」

針谷亜希子氏 (福岡市科学館開館準備室)

話題4：「クリエイターの現状」

藤岡 定 (anno lab 代表取締役)

<ティーブレイク：休憩&交流会> (16:05~16:15)

パネル討論 (16:15~17:15)

九州地区におけるミュージアムを核としたサイエンスコミュニケーションのこれから

司会：三島美佐子氏 (九州大学総合研究博物館准教授)

パネリスト：話題提供者4名

主催：日本サイエンスコミュニケーション協会（JASC）

協力：福岡市科学館開館準備室、九大総合研究博物館、九州大学大学院芸術工学研究院

支援：JST 科学技術コミュニケーション推進事業-問題解決型科学技術コミュニケーション
支援「ネットワーク形成型」

| | |
|-------|---|
| 提案企画名 | 福岡市科学館を核としたくらしと科学の共創ネットワーク拠点づくり ー地方都市の課題を多彩なノウハウを持つ市民と解決し未来を創造するー |
| 提案機関 | 株式会社福岡サイエンス&クリエイティブ |
| 概要 | <p>近年の人口増加に伴い、成長著しい都市として全国的に存在感が高まっている福岡市は、今後成長需要に応じた生活基盤の整備が行われることが予想される。</p> <p>本企画は、新たに整備・運営される福岡市科学館は、「サイエンス&クリエイティブ」を館のコンセプトとし、新たな交流と人材育成を図り、未来の福岡を共創していく未来創造活動拠点となることを目標としている。科学館開館前から科学の視点とデザイン思考を用いた多様なステークホルダーとのネットワーク構築とリテラシー向上に取り組む。また、科学館を福岡のくらしの課題解決・未来創造の拠点として根付かせ、市民が日々のくらしに科学を結び付け、未来を創造していける環境を作る。</p> |